

## 《6月例会レポート》



梅雨入りも間近の6月9日、第6回「青麗」定例会句会が開催されました。創刊から半年、順調に回を重ねて6回目の例会。昨年のカウントダウン句会から引き続き使わせていただいている会場、東京海洋大学は多くの出席者にとってすでに「通い慣れたキャンパス」になっているようです。

ただ今月はちょっとした異変が……。50名の投句があったものの、直前に体調を崩されるなどで急遽欠席された方が8名もいらしたのです。結局42名での句会になりました。

句会はいつも通り各自披講、互選高得点句についての合評、休憩を挟んで主宰選と講評、という流れです。手順は同じですが、回を追うごとに進行はスムーズに、句会の密度も濃くなってゆくように感じます。毎月顔を合わせ互いの句を読み合うことによって生まれる親しさ、連帯感のせいでしょうか。

主宰選は☆26句、☆☆7句、☆☆☆6句。いつもより時間に余裕があり講評の時間がたっぷり取られました。評しながら主宰から作者への質問があったり、作者の自句自解があったりと、双方向の句会風景となりました。対面句会のよろしさはこのあたりにあるのだと思います。



○ 当日欠席の方から「欠席投句」について質問があり、「句会を欠席される場合のルール」をあらためて確認しました。

欠席投句はお受けしません。出席者の句のみが主宰選と選評の対象になります。欠席の方の句は未投句とみなし、会費は申し受けません。

○ 「青地巡礼」について。

「青地巡礼、始めます！」と題された「青麗」7月号の記事が一足早く紹介されました。「聖地」ならぬ「青地」は青麗の「青」より。「巡礼」は先師黒田杏子から引き継ぐものです。(命名はジョニー平塚さん!)。第1回の「青地」は長野県小県郡青木村。日程は10月12・13日に決定。詳細は「青麗」9月号で、またHPでも順次告知してゆきます。

次回は7月14日。体調を整えて皆元気でお会いできますように。

(文責：高浦銘子)

(写真：杉崎文子)